

「ゴールを意識して・・・」

早いもので、2月も半分が過ぎてしまいました。いよいよゴールが近づき、「1日1日の大切さ」をしみじみと感じる今日この頃です。

5・6年生の教室に入ると、卒業式までのカウントダウンが掲示されています。廊下で、6年生とすれ違うとき、よく次のような話をします。

「卒業まで、あと何日？」

「あと、0日です！」

残り少なくなってきた小学校生活を、どのような気持ちで過ごすのか、とても気になるところです。

先週金曜日、体育委員会の計画で「全校遊び」が行われました。低学年が鬼になっての「鬼ごっこ」でしたが、学年や男女に関係なく、夢中になって遊ぶ姿を見ながら、ほのぼのとした温かいものを感じました。

楽しい時間の続きは、18日(火)です。6年生との思い出をたくさん作って、3月18日の卒業式を迎えることができたらと思っています。

さて、先日のテレビ番組で「100日後に死ぬワニ」という4コマ漫画のことが話題になっていました。かわいそうな話だなあと思いながら見ていると、作者の制作意図が紹介されました。



「死ぬ日というものが必ず訪れるわけで、そういうものを意識することで、生き方とか行動が、よりいい方向に行くのではないか。」

ここでは、「死ぬこと」がゴールになっていますが、私たちには、いろいろなゴールがあると思います。学校でいえば、まさしくゴールの時期を迎えようとしています。6年生としてのゴール「卒業式」、1～5年生のゴール「修了式」をしっかり意識させることができれば、1日1日の過ごし方も変わってくるだろうと思います。

3月、「よく頑張ったなあ」とみんなが思えるような締めくくりになるように、ラストスパートをかけて頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いします。

「あいさつ名人になる！」

休み時間に廊下を歩いていると、後ろから歩いてきた男の子に声をかけられました。

「校長先生 ぼく あいさつ名人になる！」

「お～ すごいね！ 楽しみだなあ。」

きっと、友達が「あいさつ名人」に認定されたのを見て、「よし、自分も頑張ろう。」と思ったのでしょう。友達が名人に認定されると、まるで自分が褒められたかのように喜び、「すごいね！」と拍手をする子ども達の心は、本当に純粹です。

「名人」を意識しながら生活することによって、自分だけでなく、周りの友達にも良い影響を与え、みんなが、よりよい方向に進んでいると感じています。

3学期も残り少なくなりましたが、子供たちの頑張る姿を見逃さず、たくさんの名人を認定できるように頑張ります。